

厚生連高岡病院 クリニカル・インディケーター

No	項目名	2007年度	2008年度	2009年度	単位	測定期間	算式
【入院】							
1	稼動病床数	559	559	560	床	2007年度－2009年度	実稼動病床数(休床除く)
2	延べ患者数	184,391	173,508	167,796	人	2007年度－2009年度	
3	1日平均入院患者数	503.8	475.4	459.7	人	2007年度－2009年度	
4	新入院患者数	11,540	11,500	11,142	人	2007年度－2009年度	
5	退院患者数	11,548	11,504	11,157	人	2007年度－2009年度	期間中の退院患者数
6	主要疾患別患者数(※1)	別紙参照	別紙参照	別紙参照	人	2007年度－2009年度	※原則としてICD3 桁分類の上位20疾患とする
7	疾病分類別患者数(※2)	別紙参照	別紙参照	別紙参照	人	2007年度－2009年度	
8	病床利用率	90.1	85.0	82.1	%	2007年度－2009年度	1日平均入院患者数/稼動病床数
9	平均在院日数	14.8	13.2	13.3	日	2007年度－2009年度	
10	病床回転率	24.7	27.7	27.4	%	2007年度－2009年度	365/平均在院日数
11	入院外来比率	151.3	152.2	150.6	%	2007年度－2009年度	延べ外来患者数/延べ入院患者数×100
【外来】							
1	新外来患者数	32,478	30,508	29,027	人	2007年度－2009年度	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)
2	延べ患者数	278,947	264,125	252,659	人	2007年度－2009年度	
3	平均通院回数	8.6	8.7	8.7	回	2007年度－2009年度	延べ外来患者数/新外来患者数
4	1日平均外来患者数	1147.9	1091.4	1044.0	人	2007年度－2009年度	延べ患者数/診療日数
5	紹介率	22.6%	23.3%	25.2%	%	2007年度－2009年度	初診患者のうち紹介患者数(入外)/初診患者数(入外) (※当院定義)
6	逆紹介率	26.2%	26.8%	32.3%	%	2007年度－2009年度	診療情報提供料数(入外)/初診患者数(入外) (※当院定義)
7	救急車搬送患者数	2,482	2,452	2,268	人	2007年度－2009年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー: 自院、他院を含む。)

厚生連高岡病院 クリニカル・インディケーター

No	項目名	2007年度	2008年度	2009年度	単位	測定期間	算式
【死亡患者】							
1	死亡退院数	595	599	619	人	2007年度－2009年度	救命救急外来死亡患者含む
2	粗死亡率	5.2	5.2	5.5	%	2007年度－2009年度	死亡患者数／退院患者数
3	精死亡率	3.6%	3.5%	3.9%	%	2007年度－2009年度	全死亡患者数－入院後48時間以内死亡／退院患者数
4	剖検数	7	7	5	件	2007年度－2009年度	
5	剖検率	1.2	1.2	0.8	%	2007年度－2009年度	・剖検数/死亡退院患者数×100
【手術】							
1	施設基準に掲げる手術件数(※3)	別紙参照	別紙参照	別紙参照	件	2007年－2009年	医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の件数(2007・8・9年1月から12月までの件数)
2	入院手術件数	3,788	3,841	3,773	件	2007年度－2009年度	手術室利用件数
3	全身麻酔件数	2,161	2,127	2,091	件	2007年度－2009年度	期間中の実施件数
4	硬膜外麻酔	248	204	216	件	2007年度－2009年度	期間中の実施件数
5	脊椎麻酔	273	304	292	件	2007年度－2009年度	期間中の実施件数
6	緊急時間外手術件数	300	283	228	件	2007年度－2009年度	実数
7	重症入院患者の手術全身麻酔件数	356	247	326	件	2007年度－2009年度	実数
8	緊急帝王切開数	58	54	31	件	2007年度－2009年度	実数
【医療安全】							
1	医療事故発生率	0.03	0.02	0.03	%	2007年度－2009年度	分子:公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 分母:インシデントレポート報告数

厚生連高岡病院 クリニカル・インディケーター

No	項目名	2007年度	2008年度	2009年度	単位	測定期間	算式
【その他】							
1	医療従事者数	839	859	866	人	定点	常勤換算人数(4月1日付)
2	材料比率	7.6%	7.1%	6.9%	%	2007年度-2009年度	材料費総額/医業収入
3	医薬品比率	28.0%	26.4%	26.8%	%	2007年度-2009年度	薬剤費総額/医業収入
4	査定率	0.157	0.098	0.110	%	2007年度-2009年度	(請求点数-確定点数)/請求点数
5	研修医受入れ人数	8	5	6	人	2007年度-2009年度	4月1日における人数 <単独型臨床研修病院>
6	指導医数	21	25	29	人	2007年度-2009年度	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、7年以上の臨床経験を有するものであって、臨床研修医指導セミナーを受講した者(4月1日現在届出数)
7	医療相談件数	131	115	107	件	2007年度-2009年度	医療相談室等で受けた相談・苦情件数
8	がん患者相談件数	186	206	432	件	2007年度-2009年度	
9	診療情報の開示件数	7	5	3	件	2007年度-2009年度	年間の総開示件数
10	セカンドオピニオン件数	21	15	9	件	2007年度-2009年度	新規相談件数
11	患者対看護職員数	10:1	10:1	7:1		2007年度-2009年度	看護体制(平成20年7月から7:1)
12	認定看護師数	0	2	3	人	2007年度-2009年度	日本看護協会が定める認定看護師の有資格者数(H21.3.31現在)
13	認定実務実習指導薬剤師	0	0	2	人	2007年度-2009年度	日本病院薬剤師会が定める長期実務実習指導薬剤師の有資格者
14	院外処方箋率	39.2	37.8	34.9	%	2007年度-2009年度	院外処方箋枚数/外来処方箋枚数
15	後発品利用率	5.0	5.9	6.5	%	2007年度-2009年度	採用後発品医薬品数/全採用医薬品数
16	治験新規契約件数	1	2	3	件	2007年度-2009年度	※新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)
17	治験の実施症例件数	18	7	10	件	2007年度-2009年度	実数
18	薬剤管理指導料算定件数	5968	7775	6335	件	2007年度-2009年度	実数
19	外来で化学療法を行った延べ患者数	3069	3207	3293	人	2007年度-2009年度	実数
20	無菌製剤処理科算定件数	8051	8393	9403	件	2007年度-2009年度	実数
21	10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数	-	124	136	本	2007年度-2009年度	実数
22	クリニカルパス種類数	38	62	31	種	2007年度-2009年度	作成したクリニカルパスの種類
23	クリニカルパス適用率	-	63.3	69.6	%	2007年度-2009年度	クリニカルパス適用患者数/退院患者数
24	新生児のうち、出生時体重が1,500g未満数	20	13	14	人	2007年度-2009年度	出生時体重が1,500g未満の産児数
25	新生児特定集中治療室(NICU)実患者	182	164	163	人	2007年度-2009年度	実数
26	組織診病理診断件数	11102	10926	11711	件	2007年度-2009年度	実数
27	術中迅速診断件数	321	328	330	件	2007年度-2009年度	実数
28	褥創発生率	0.71	0.87	0.96	%	2007年度-2009年度	分子:新規褥創発生患者数 分母:当該月入院患者数
29	直線加速器による定位放射線治療患者	36	26	24	人	2007年度-2009年度	実数
30	放射線治療件数	6516	5838	6112	件	2007年度-2009年度	年間の放射線治療実施件数
31	CT撮影件数	21004	19666	19648	件	2007年度-2009年度	年間のコンピュータ断層撮影件数
32	MRI撮影件数	6370	6764	7136	件	2007年度-2009年度	年間の磁気共鳴画像撮影件数
33	脳梗塞の早期リハビリテーション実施率	-	34.0	47.9	%	2007年度-2009年度	分子:入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数 分母:最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者数、緊急入院に限る
34	職員のインフルエンザワクチン接種率	83.2	85.2	90.9	%	2007年度-2009年度	自施設でインフルエンザワクチンを接種した職員数(分子)/院内職員対象インフルエンザワクチン接種を開始した月の初日に在職している非常勤職員を含む病院職員数(派遣職員を除く)(分母)
35	職員の健診受診率	94.7	95.6	95.5	%	2007年度-2009年度	事業所健診の受診者数(分子)/健診対象職員数(4月時点)(分母)
36	公開講座等(セミナー)の主催数	-	-	51	件	2007年度-2009年度	実数

※1 主要疾患別退院患者数

(平成19年度)

ICD10	病名	
K63	大腸ポリープ・結腸ポリープ	392
C34	肺の悪性新生物	349
I20	狭心症	270
C18	結腸の悪性新生物	245
C16	胃の悪性新生物	198
H26	白内障	193
C85	悪性リンパ腫	170
J18	肺炎・気管支肺炎	155
I50	心不全・うっ血性心不全	138
C22	肝・胆管細胞の悪性新生物	135
I63	脳梗塞	128
J45	気管支喘息・喘息性気管支炎	121
C67	膀胱癌	100
C20	直腸癌	97
M48	脊柱管狭窄症	93
S72	右大腿骨頸部骨折・大腿骨骨幹部骨折	93
K80	総胆管結石・胆石性胆のう炎	89
C50	乳癌	86
I84	痔核・内痔核	84
K56	イレウス	82
総計		7703

※但し、平成19年7月から平成20年3月まで

(平成20年度)

ICD10	病名	
K63	大腸ポリープ・結腸ポリープ	594
C34	肺の悪性新生物	559
C18	結腸の悪性新生物	386
J18	肺炎・気管支肺炎	345
I20	狭心症	333
H26	白内障	322
C16	胃の悪性新生物	274
O80	自然分娩	235
I84	痔核・内痔核	197
C85	悪性リンパ腫	195
I63	脳梗塞	192
C22	肝・胆管細胞の悪性新生物	158
I50	心不全・うっ血性心不全	153
S72	右大腿骨頸部骨折・大腿骨骨幹部骨折	129
K56	イレウス	126
C20	直腸癌	119
C50	乳癌	110
K57	結腸憩室症	110
M48	脊柱管狭窄症	106
I61	脳出血	102
総計		10689

(平成21年度)

ICD10	病名	
C34	肺の悪性新生物	609
K63	大腸ポリープ・結腸ポリープ	549
I20	狭心症	384
J18	肺炎・気管支肺炎	338
C16	胃の悪性新生物	316
C18	結腸の悪性新生物	314
I84	痔核・内痔核	288
O80	自然分娩	285
H25	白内障	223
I63	脳梗塞	192
H26	白内障	176
C22	肝・胆管細胞の悪性新生物	171
I50	心不全・うっ血性心不全	154
C67	膀胱癌	138
C20	直腸癌	126
S72	右大腿骨頸部骨折・大腿骨骨幹部骨折	117
K80	総胆管結石・胆石性胆のう炎	114
K56	イレウス	110
C61	前立腺癌	107
E11	2型糖尿病	102
総計		11070

※2 疾病分類別患者数・平均在院日数

(平成19年度)

	分類	患者数	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	179	11.3
II	新生物(C00-D48)	2117	19.6
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	34	25.7
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	162	18.4
V	精神および行動の障害(F00-F99)	15	16.5
VI	神経系の疾患(G00-G99)	129	23.3
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)	305	6.1
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	62	8.4
IX	循環系の疾患(I00-I99)	1131	20.2
X	呼吸系の疾患(J00-J99)	688	12.4
X I	消化系の疾患(K00-K93)	1108	8.6
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	56	18.6
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	265	19.4
X IV	尿路生殖系の疾患(N00-N99)	387	13.3
X V	妊娠、分娩および産褥(O00-O99)	155	15.5
X VI	周産期に発生した主要病態(P00-P96)	120	15.8
X VII	先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)	58	5.5
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)	299	7.4
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	430	27.3
X X	傷病および死亡の外因(V01-Y98)		
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	3	17.3

※但し、平成19年7月から平成20年3月まで

(平成20年度)

	分類	患者数	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	262	12.1
II	新生物(C00-D48)	2651	17.4
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	281	11.8
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	205	20.8
V	精神および行動の障害(F00-F99)	13	3.5
VI	神経系の疾患(G00-G99)	176	17.0
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)	456	5.6
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	101	8.0
IX	循環系の疾患(I00-I99)	1634	18.0
X	呼吸系の疾患(J00-J99)	907	14.9
X I	消化系の疾患(K00-K93)	1550	8.7
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	77	17.5
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	412	18.7
X IV	尿路生殖系の疾患(N00-N99)	419	15.8
X V	妊娠、分娩および産褥(O00-O99)	503	12.6
X VI	周産期に発生した主要病態(P00-P96)	186	13.9
X VII	先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)	48	10.5
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)	144	10.1
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	656	25.8
X X	傷病および死亡の外因(V01-Y98)		
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	8	9.4

(平成21年度)

	分類	患者数	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	222	10.8
II	新生物(C00-D48)	2983	16.7
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	61	16.7
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	189	18.2
V	精神および行動の障害(F00-F99)	14	9.1
VI	神経系の疾患(G00-G99)	130	26.9
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)	566	5.7
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	147	7.8
IX	循環系の疾患(I00-I99)	1728	17.6
X	呼吸系の疾患(J00-J99)	991	13.5
X I	消化系の疾患(K00-K93)	1484	8.8
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	78	18.2
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	387	17.8
X IV	尿路生殖系の疾患(N00-N99)	487	13.8
X V	妊娠、分娩および産褥(O00-O99)	561	12.4
X VI	周産期に発生した主要病態(P00-P96)	207	14.2
X VII	先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)	93	6.0
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)	106	9.3
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	630	24.9
X X	傷病および死亡の外因(V01-Y98)		
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	6	17.3

※3 医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術		手術件数		
区分1に分類される手術		2007年	2008年	2009年
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	44	40	39
イ	黄斑下手術等	116	104	119
ウ	鼓室形成手術等	20	29	42
エ	肺悪性腫瘍手術等	104	90	117
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	67	69	83

区分2に分類される手術		2007年	2008年	2009年
ア	靭帯断裂形成手術等	17	14	13
イ	水頭症手術等	11	19	25
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	1	0	0
エ	尿道形成手術等	31	15	19
オ	角膜移植術	0	1	0
カ	肝切除術等	31	41	44
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	7	6	13

区分3に分類される手術		2007年	2008年	2009年
ア	上顎骨形成術等	3	1	1
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	14	9	10
ウ	パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0	1	2
エ	母指化手術等	3	0	1
オ	内反足手術等	0	0	0
カ	食道切除再建術等	7	7	9
キ	同種腎移植術等	0	0	0

その他の区分に分類される手術		2007年	2008年	2009年
4	人工関節置換術	59	66	56
5	乳児外科施設基準対象手術	0	0	0
6	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	40	47	50
7	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)及び体外循環を要する手術	35	35	35
8	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	204	197	186

※1 手術件数は、各年1月から12月までのそれぞれ1年間の実績